



 fukuske
2025
CORPORATE PROFILE

心とカラダに『福』を。

～今日の感動を未来の文化へ～

企業理念に込められた想い

真心を込めたものづくりと最上級の感動を提供することで、
お客様、すべてのステークホルダーに『福』をお届けする企業になろう。

“を。”に続くアクションを、すべての従業員が自発的に考え、行動しよう。

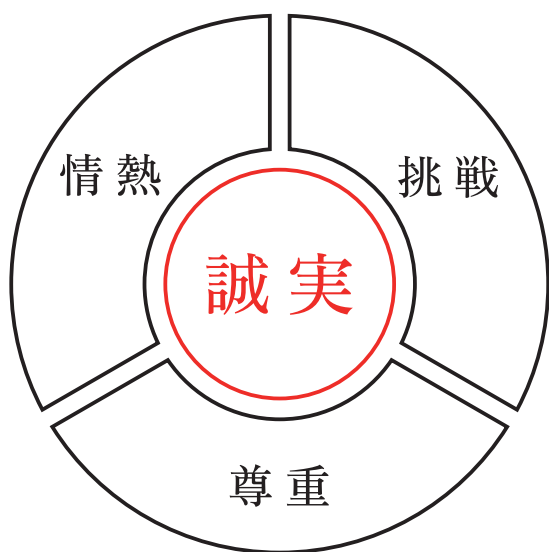
感動を日々積み重ねていくことによって、我々の製品・サービスを未来の文化にしよう。

福助のあるべき姿として、普遍的に変わらない価値観、
企業として提供したいと望む想いが、この企業理念には込められています。

4つの行動指針

我々福助の行動の指針は4つの要素で構成されます。

まずは、人として基本となる「誠実」を円の中心に据え、
企業発展に不可欠な「情熱」「挑戦」「尊重」を円の周りに配しています。



誠実

感謝の気持ちを持って正直に行動し、
お客様の信頼を築いていこう。

情熱

熱い心と誇りを胸に、感動を生み出そう。

挑戦

失敗を恐れず迅速果敢に行動し、未来を切り拓こう。

尊重

互いの個性を認め、本音で語り合い、共に成長しよう。

行動指針のすべてが、「～しよう。」と末尾を統一されているのには理由があります。

従業員同士が確認し合えたり、お互いに励まし合えたりする表現に。

我々の行動のすべては、みんなで協力し合い、励まし合いながら、前に進んでいくのです。

会社概要

社名	福助株式会社 / Fukuske Corporation		
設立	2000年（平成12年）11月24日【創業1882年（明治15年）】		
本店所在地	〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-24 青海フロンティアビル 11階・12階		
事業所	札幌事業所 / 大阪事業所 / 九州事業所		
代表電話番号	03-5500-6451		
資本金	3億円		
社員数	426名（2025年6月時点）		
株主	豊田通商株式会社		
取締役 / 監査役	代表取締役社長	坂本 友哉	
	取締役	三條 毅司	
	取締役	佐々木 義典	
	取締役	早川 慎一	
	取締役（非常勤）	南 浩二	
	取締役（非常勤）	柴田 正則	
	取締役（非常勤）	丹原 久美子	
	取締役（非常勤）	岩男 史朗	
	監査役	山本 行宏	
	監査役（非常勤）	會田 靖	
事業内容	足袋の製造、卸売、小売 靴下、肌着、ストッキングの卸売、小売		
主要取引先	百貨店：三越伊勢丹、高島屋、そごう西武、大丸松坂屋、阪急阪神 他 チェーンストア：しまむら、イトーヨーカドー、イオン 他		
主要仕入先	豊田通商(株)、オーアイ工業(株)、吉谷靴下(株) 他		
取引銀行	三菱UFJ銀行、三井住友銀行		
関連会社	四国フクスケ株式会社 〒768-0070 香川県観音寺市南町五丁目4番27号	代表電話番号	0875-25-2380
	福助ロジスティクス株式会社 〒590-0065 大阪府堺市堺区永代町三丁目1番1号	代表電話番号	072-223-2320
	福助（上海）商貿有限公司 上海市長寧区遵義路100号虹橋南豊城A2107室	代表電話番号	+86(21)-6275-1717
	上海華鐘ストッキング有限公司 上海市国偉路135号13号棟401-405室	代表電話番号	+86(21)-6095-4808
直営店舗	fukuske 浦添パルコシティ店 Fukuske Outlet 全25店舗		

福助のあゆみ

創業者・辻本福松の生い立ち

文久元年七月二日、大町東三丁の綿糸商、安次郎の四男として出生。
幕府御本丸御用の木綿商で、河内木綿を納めていたそうです。

古老の話によると、兄安七は才気に富み、福松は利発な人であったそうです。
彼は激動の明治時代、家庭的には父母の愛に恵まれ、兄の指導のもとにすくすくと成長しました。子どものころは、読み書きそろばん、四書五経の素読などにも勤しみました。何といっても大きかったのは、父母、兄弟の姿にみる商人道の習得でした。上方商法の三法、“始末する、算用する、才覚する”を、砂地が水を吸い込むように体得していきました。

そのころの商店には、丁稚（でっち）、手代、番頭の階層があり、丁稚は彼と同年輩くらいの少年たちでした。厳寒のころともなると、番頭は羽織、足袋、雪駄ばき、ふところ手で出かけます。お供の丁稚は、自分の体よりも大きな商品見本の箱を風呂敷で背負い、素足にわらじ履き。その足はアカギレでひび割れていました。丁稚が手代になるのには数年かかります。丁稚たちは一日も早く、足袋のはける手代になろうと努力し、つらさに耐えました。この忍耐努力が、堺商人の根性を培っていったのです。後年福松が、すべての人に丈夫で安い足袋を考えた原点は、こうした実状を見、かつ経験したことにあったのでしょうか。

当時、商人に学問は不要、商いの邪魔になるというのが通念でしたが、福松は親の理解もあり、向学心もあって、寺子屋に通うことができました。そのとき聞いた論語の中の言葉、「我道は一以て之を貫く」に大きな感動を覚えました。これは生涯を通じて福松の生き方の指針となりました。孔子のいう一は仁でしたが、彼はそれを「まこと」と解し、足袋に生かしていったのです。



堺と福松

福松は自分が生まれ育った堺が好きでした。また、昔の堺、堺商人の話が好きで聞きました。
十六世紀のはじめ、堺は東洋のベニスと呼ばれ、戦国の世に二百五十年の平和を保ち、日本一の貿易港として栄えました。

堺の豪商たちの特質は、多種の商品を扱い、為政者と親交があり、海外に常に目を向けていたことです。そのころ堺の町に「何しようぞ、くすんで。一期は夢ぞ、ただ狂え」という歌が流行しました。限りある人生、引き込み思案はすてて、ひたすら積極果敢に行動しようとの意です。堺商人の気迫と意気込みで、これは江州商人、伊勢商人に代表される上方商人の気質とは異質のものでした。

その後、豊臣秀吉は天下を統一して大阪に築城、堺商人を浪華の津（大阪港）に移住させ、堺の堀を埋め、自由都市堺に大きな影響を与えました。さらに大阪夏の陣には堺も戦場となり、焼野原となりました。納屋衆呂宗助左衛門等は、「町は焼けても、堺にはまだ海がある」と船を造り、貿易をおこして復興させました。

こうした話を聞くにつけ、当時の堺をみて、「われ、堺の納屋衆たらん、堺を黄金の日日にかえさん」と、大きな夢に胸をふくらませていました。

辻本福松、足袋装束商創業

堺区大町東三丁四十一番地に、紺地に白く丸福と染めぬいた暖簾を掛けて五間間口の足袋装束卸問屋が生まれました。明治十五年一月中旬のことです。

店主は辻本福松、商標はその名にちなんで丸福。当時二十一歳、角帯に紺前垂れ姿かいがいしく、手代、丁稚とともに忙しく立ち働いていました。

福松のほおは希望に燃え、眸は洋々たる前途を見つめて輝いていました。少年時代からの夢“堺の納屋衆たらん、堺に昔日の黄金の日日を取り戻さん”その実現への第一歩であり、彼は、これが私の進むべき道だと、深く決心するのでした。

福松は、兄安七の友人河盛足袋装束店の後を、残品全部とともに引き受け、およそ二千円の資本で開業したのです。

独立してすぐに大澤徳右衛門の二女まつと結婚。福松の精進は始まりました。店売り、得意先回り、仕入れと、まだ夜の明けきらないうちから出かけ、晩には星をいただいて帰る毎日でした。



沿革

明治 15 年 (1882 年)

足袋装束店として「丸福」を創業



大正 8 年 (1919 年)

『福助足袋株式会社』設立

昭和 11 年 (1936 年)

婦人用絹ストッキング製造開始

昭和 57 年 (1982 年)

創業 100 周年を迎える

平成 15 年 (2003 年)

本社機能を東京都渋谷区へ移転
新生福助株式会社として事業をスタート
現 CI ロゴを新たに制定



平成 27 年 (2015 年)

モノづくり精神と技術力を集結させた
『福助』が紳士靴下ブランドとして登場
福助株式会社、KB フクスケ株式会社、
ユニチカパークシャー株式会社の 3 社が統合



令和 2 年 (2020 年)

新 CI ロゴを制定
『満足』が“Hello! びっくりの心地よさ。”
をキャッチコピーにリニューアル



令和 4 年 (2022 年)

『デイリー満足』が環境に配慮したストッキングへ
リニューアル
創業 140 周年を迎える
『満足』から“美温活シリーズ”が登場

明治 33 年 (1900 年)

「福助」を商標として登録

昭和 7 年 (1932 年)

取り扱い商品の拡大
(靴下、シャツ、シューズなど)
足袋に限らず、幅広いアイテムの
展開を開始



昭和 39 年 (1964 年)

社名を「福助株式会社」に変更

平成 3 年 (1991 年)

女性の脚をより美しく魅せる
パンティストッキング『満足』を発売し、
好評を得る



平成 25 年 (2013 年)

豊田通商株式会社の連結子会社となる

平成 30 年 (2018 年)

「くらしを変える、一足を。」を
コンセプトに、ライフスタイル提案型
ブランドとして社名を冠するブランド
『fukuske』がリニューアル



令和 3 年 (2021 年)

本社機能を東京都江東区へ移転
足袋づくりの伝統技術を活かした生活雑貨ブランド
「Tabeez」をスタート
「ジャパンサステナブルファッションアライアンス」に加盟

令和 7 年 (2025 年)

香港に海外初のポップアップショップを期間限定オープン

ブランド紹介

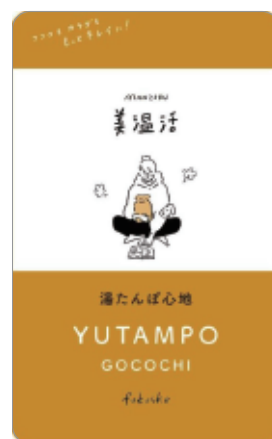


“暮らしを変える、一足を。”をコンセプトとしたライフスタイル提案型ブランド。レグウェアを価格だけで選ぶのではなく、本当に良いものを選んでほしいという想いのもと、見た目の美しさや、はいた時の心地よさなど細部にまでこだわった商品を展開しています。



“Hello! びっくりの心地よさ。”をキャッチコピーに、毎日がんばっている女性とその脚をいちばん応援する、ストッキングが主力のブランド。

1991年にデビューして以来、お客様の日常生活のお悩みを解決するストッキングや靴下、インナーを展開しています。



ブランド紹介

FRANTICA by FUKUSKE

大人の女性のクローゼットを素敵で華やかなレグウェアで満たし、ファッションスタイルのこだわりを脚もとから楽しんで頂くことをコンセプトにした『FRANTICA by FUKUSKE』は、上質で高感度、そして心地よい物を求める大人の女性におくる、ファッション提案型ブランド。



福助足袋

「より良い足袋を、より多くのお客様に」をモットーに、創業以来、数々の革新的な試みで足袋業界をリードしてきた確かな伝統と品質のある、福助の代表ブランド。

様々な人の足に合う「型」を各種取り揃え、お客様ひとりひとりにご満足いただける一足をお選びいただけるように、これからも『福助足袋』はまごころと感謝をこめて皆さまに愛される足袋づくりを進めてまいります。



ライセンスブランド

※アルファベット順



Admiral

agnès b.

Brooks Brothers

CONVERSE



ジブリがいっぱい

HANAÉ MORI

MACKINTOSH
PHILOSOPHY

pierre cardin

TOROY.

他多数展開しています。

最近の取り組み

EXPO 2025 大阪・関西万博 日本館のユニフォーム用に『福助足袋』を協賛

EXPO 2025 大阪・関西万博の日本政府館（日本館）にて、パビリオンの案内や各種接遇等を行うアテンダントのユニフォームに合わせるアイテムとして当社の『福助足袋』を提供いたしました。



健康経営優良法人・大規模法人部門に認定



2025年度、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人・大規模法人部門」に認定されました。企業理念である「心とカラダに『福』を。」のもと、すべての従業員が心身ともに健康に働くことができる環境づくりに向けて、今後も従業員の健康維持・増進の取り組みを実施してまいります。

香港に海外初のポップアップショップをオープン

2025年4月、当社では初となる海外でのポップアップストアを香港上環（シャンワン）に期間限定でオープン。

「fukuske」のメンズカジュアルソックス「.fukuske by FUKUMATSU」のソックスを販売しました。



「シェイパーズ フォーメン プレミアム」を発売



2025年6月、メンズ着圧ソックス「シェイパーズ フォーメン」の最上位クラス『シェイパーズ フォーメン プレミアム』を発売しました。

2005年にデビューした「シェイパーズ フォーメン」のこだわりの着圧設計はそのままに、さらに原料や風合い、色出し、機能などをパワーアップさせ見た目の美しさと着用感にとことんこだわったラグジュアリーなソックスです。

福助グループを支える行動倫理規範

当社は、豊田通商グループの制定するグローバル行動倫理規範 (Global Code of Conduct & Ethics/COCE) を、福助グループの社員一人ひとりが理解し、実践していくことで、企業理念である「心とカラダに『福』を。～今日の感動を未来の文化へ～」の実現を目指しています。

グローバル行動倫理規範 (COCE)



安全第一

私たちは、安全衛生活動に全力を傾け、安全で健康的な職場環境をつくります。



法令遵守

私たちは、反汚職、独占禁止及び国際取引に係る法令を含む全ての適用法令を遵守します。



正確な財務情報開示

私たちは、正確な財務情報を開示します。



社内規程遵守

私たちは、全ての社内規定遵守に責任を負います。



誠実・正直・公明正大

私たちは、誠実、正直、公明正大、公正透明に企業活動を行い、全てのステークホルダーとの信頼関係を維持、発展させます。



持続可能な社会の発展

私たちは、持続可能な社会の発展に貢献します。



環境に配慮

私たちは、環境に配慮した企業活動を追求、促進します。



創造と改善

私たちは、創造と弛まぬ改善により付加価値を提供します。



人権尊重

私たちは、人権を尊重します。



ダイバーシティ & インクルージョン

私たちは、社内及び社会における多様性を尊重して受け入れ、違いを活かす「ダイバーシティ&インクルージョン」に積極的に取り組みます。

具体的な取り組みの事例

環境保全

靴下生産時、製造ロスを見込んで必要数より多めに糸を発注するなど、様々な理由によって余ってしまった糸を再利用した靴下のシリーズ「もったいない靴下」を2021年秋冬シーズンより展開しています。



ダイバーシティ&インクルージョン



女性活躍推進法に基づき定められた基準（「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」）を満たし、女性の活躍促進の取り組みが優良である企業が受けられる認定制度である「えるぼし認定」を取得しました。

当社は上記の5項目全てにおいて基準を満たし、星3つの最高ランクを取得、女性が活躍している企業であることが認められました。